文部科学省科学技術人材育成費補助金
ポストドクター・キャリア開発事業

博士人材のキャリア開発

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

■活動事例集■

高度専門キャリア形成論（平成２５年度および平成２６年度）

資料－１

「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」ポスター

《平成２６年度第１～１１回》

文部科学省科学技術人材育成費補助金
「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

平成26年度　第1回高度専門キャリア形成論

「将来の働き方の選択肢と就職を考える」

グローバル化が進み、キャリアを取り巻く環境も大きく変化しています。
『自分の夢や目標に向けての将来構想』を展望し、
自分らしい働き方の実現のための《キャリアデザイン》を考えます。

日時　2014年 4月24日(木) 16:20 -17:50

場所　品川キャンパス
白鷹館 2階多目的スペースⅠ

講師　塩谷　和美　特任教授

京都府出身
昭和47年3月　東京水産大学　漁業学科卒業
経歴
・水産漁具メーカーを経て、
・セブンイレブンジャパン創業時のメンバーとして入社、
　店舗開発、東京・関西営業統括部長を歴任。
・アパレル企業(株)ワールドに転じ業務推進部長、
　新規事業を起し会社社長。
・大型M＆Aを手がけたファンドの執行役員。
ベンチャー企業や経営コンサルタントの経験を経て、
・平成16年よりチャレンジャー・グレイ・クリスマス(株)の
　主席講師としてキャリアデザイン研修を担当し、
　民間企業で16000人が受講している。
・産業カウンセラー、キャリアコンサルタント
（日本産業カウンセラー協会）

大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の「高度専門キャリア形成論」を７回以上出席した場合、
下記の単位が取得できます。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

お問い合わせ
国立大学法人東京海洋大学
キャリア開発室
〒108-8477　東京都港区港南 4-5-7
03-5463-0575 (TEL)　career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

主催：東京海洋大学
協賛：グローバル人材育成推進室　キャリア開発室　男女共同参画推進室女性研究者支援機構

国立大学法人 東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology

海外で仕事をしたい研究者のための

グローバルキャリアパス特別セミナー

～世界で活躍している博士研究者に聞く、海外でのキャリア形成とは～

日　時：2014年 5月 2日(金)
15:00 ～ 16:30

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
白鷹館２階　多目的スペース

どなたでも参加無料

事前申込不要

本学で博士号を取得後、多国籍な食品と日用品で世界的大企業のユニリーバの研究所で活躍している卒業生、井上千春氏（食品生産学科卒）をお迎えし「海外でのキャリア形成」についてご講演いただきます。将来海外で仕事をしたいとお考えの学生・院生・ポスドクの方々、直接話が聞ける貴重なこの機会をお見逃しなく！　**★この特別セミナーは「高度専門キャリア形成論」の出席としてカウントします★**

＜プログラム＞

15:00　開会挨拶　キャリア開発室

15:05　講演　井上　千春氏（Unilever R&D Vlaardingen Biopolymer Scientist ）

講演内容　今までのキャリアについて　現在のお仕事について
海外で働くには？　ワークライフバランスについて　等の

予定
16:10　質疑応答
(16:30 終了予定)

☆講演者プロフィール☆
井上　千春（Chiharu Inoue）氏
東京都出身　2000年東京水産大学食品生産学科博士後期課程修了
広島大学ベンチャービジネスラボラトリで2年間のポスドクを経て、2002年より、Unilever R&D Colworth (イギリス)へ入社。
Biopolymer Scientist。2005年より、Unilever R&D Vlaardingen (オランダ)へ転勤、同じくBiopolymer Scientist。
国際的な企業の一研究者として、様々な食品の研究開発に加わる。複数の特許に共同発明者として参加。
製品化されたものとしてゼリー状スープの素がある。

＜講演者＞
井上千春氏 (ユニリーバ研究所)

＜当会場へのアクセス＞　品川キャンパス：東京都港区港南4－5－7
・JR線・京浜急行線品川駅港南口(東口)から正門まで徒歩約10分
・東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、裏門まで約10分
・りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り裏門まで約　15分

＜お問合せ先＞ 国立大学法人東京海洋大学
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
◇**グローバル人材育成推進室**　TEL.03-5463-0816
http://www.kaiyodaiglobal.com/
◇**キャリア開発室**　TEL.03-5463-0575　←「高度専門キャリア形成論」についてはこちらまで
http://www.kaiyodaicareer.com/
◇**男女共同参画推進室 女性研究者支援機構**　TEL. 03-5463-0680
http://uminaminet.jp/

託児・一時休憩スペース(ペンギンルーム)あります
お子様連れでも安心してご参加ください。ご利用希望の方はオフィス海なみまで

平成２６年度　第3回 高度専門キャリア形成論

「真珠研究の最前」

第3回の高度専門キャリア形成論は、企業の研究所における研究について取り上げます。ミキモト真珠養殖研究所所長の永井先生をお招きして、企業における研究や真珠の養殖についてお話いただきます。PDや大学院生だけでなく学部生の方も是非受講してください。

講師
永井　清仁　先生

経歴
1982年　東京水産大学　増殖学科卒業
　　株式会社ミキモト入社
1996年　株式会社ミキモト　真珠研究所所長
2001年　真珠賞（真珠新聞社）受賞
2003年　日本水産学会技術賞（日本水産学会）受賞
2006年　九州大学に於いて農学博士号取得

場所　品川キャンパス白鷹館2階　多目的スペース1

日時　2014年 5月29 日（木）16：20-17：50

１６：２０　開催挨拶

１６：３０　高度専門キャリア形成論　講義
講師：永井　清仁　先生
株式会社ミキモト　真珠研究所所長
モデレーター：瀬川　進　先生
東京農業大学教授、本学名誉教授

１７：５０　終了

大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を7回出席された場合下記の単位が取得できます。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（1単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（1単位）

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

主催
R-MaST
国立大学法人　東京海洋大学
キャリア開発室
TEL: 03-5463-0575
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・キャリア開発事業」

文部科学省科学技術人材育成費補助金 「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

平成26年度　第4回高度専門キャリア形成論

キャリアデザインシリーズ 2

「いま企業が求める人材とは」

《社会と企業の変化》を知ろう！

自分の就職活動への関心や準備度を知ろう！
今回の講義の中でアセスメント[就職レディネスチェック]が無料で受けられます

日　時：2014年 6月 19日(木)
16:20 ～ 17:50

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
2号館　１００A講義室

講師

塩谷　和美　特任教授

昭和47年3月　東京水産大学　漁業学科卒業

経歴
・セブンイレブンジャパン創業時のメンバーとして入社、
その後アパレル企業や大型M＆Aファンドの執行役員を歴任

・企業でのマネジメントや経営コンサルタントの経験を活かし、
この10年間は大手企業でキャリアデザイン・リーダーシップ
研修を実施し、16,000人が受講している。

大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の「高度専門キャリア形成論」を７回以上出席した場合、
下記の単位が取得できます。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

お問い合わせ

国立大学法人東京海洋大学
キャリア開発室

〒108-8477　東京都港区港南 4-5-7
03-5463-0575 (TEL)　career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

第5回　高度専門キャリア形成論

「水産・海洋科学の最前線で働く」

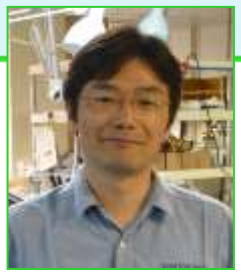
～水産や海洋で活躍している博士研究者に聞く、学位取得者に期待されることとは～

講師
渡邊　一功　先生
一般社団法人漁業情報サービスセンター
事業２課課長代理

経歴

１９９５年３月	東京水産大学　水産学研究科博士前期課程	修了
１９９５年４月	社団法人漁業情報サービスセンター	入社
２００６年９月	東京海洋大学 海洋科学技術研究科博士後期課程	修了

サンマ、スルメイカ、さば、いわしなどの情報収集・提供・研究を行っている他、資源評価のための情報システムの管理、温暖化による漁場変化などの研究を行っている。



講師
田中　智行　先生
株式会社マリン・ワーク・ジャパン
海洋地球科学部　地球科学分野
地球環境分析室　地球化学課　課長

経歴

１９９５年３月	東京水産大学　資源育成学科	卒業
２０００年３月	名古屋大学大学院　博士後期課程	修了
２０００年４月	地球観測フロンティア研究システム	
２０００年７月	アラスカ大学フェアバンクス校 国際北極圏研究センター	
２００４年４月	株式会社マリン・ワーク・ジャパン	

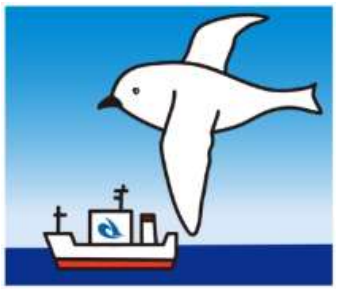
地球深部探査船「ちきゅう」の建造時期から研究区画の立ち上げに携わり、現在、IODP国際深海科学掘削計画のもとで実施される掘削航海のラボオフィサーを務める。

日　時：2014年 7月 10日(木)
16:20 ～ 17:50

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
白鷹館２階　多目的スペース

＜プログラム＞

16:20	開会挨拶	
16:25	講演	渡邊　一功 氏 （一般社団法人　漁業情報サービスセンター）
17:05	講演	田中　智行 氏 （株式会社マリン･ワーク･ジャパン）
17:50	閉会挨拶	



大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を7回出席された場合
下記の単位が取得できます。
前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（1単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（1単位）

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

主催
R-MaST

国立大学法人　東京海洋大学
キャリア開発室
TEL: 03-5463-0575
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

第１回　キャリアワークショップ
第６回　高度専門キャリア形成論

博士が海外で活躍する　第２
国際協力の業務について
～開発コンサルタントの仕事～

水産分野の国際協力

日　時：2014年 9月 18日(木)
16:20 ～ 19:00

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
白鷹館２階　多目的スペース

発展途上国で国際協力を行っているコンサルティング会社の方をお迎えし「海外支援を通してのキャリア形成」についてご講演いただきます。講演後、懇談会を予定しております。

★懇談会で将来海外で仕事をしたいとお考えの学生・院生・ポスドクの方々、
直接話が聞ける貴重なこの機会をお見逃しなく！★

＜プログラム＞

16:20　開会挨拶

16:25　講演　　寺島　裕晃氏
アイ･シー･ネット株式会社　代表取締役

〈質疑応答〉

17:20　長期インターンシップ報告
報告者　　櫻井　恵子さん　本学博士後期課程2年
（研修先:アイ･シー･ネット株式会社）

〈質疑応答〉

18:00　懇談会　挨拶

（19:00 終了予定）

＜講演者＞
寺島裕晃氏　(アイ・シー・ネット株式会社)

☆講演者プロフィール☆
寺島　裕晃　氏　水産学博士

1992年北里大学大学院にて博士号取得後、1998年１月にアイシーネット株式会社入社。1998年6月より2002年12月までモーリシャスで沿岸生態系調査のJICA専門家。その後、主に水産分野のコンサルタントとして、JICAや世銀の案件に従事し、2009年より代表取締役に就任。

どなたでも参加無料

事前申込不要

大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を7回出席された場合
下記の単位が取得できます。
前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（1単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（1単位）

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

R-MaST

国立大学法人　東京海洋大学
キャリア開発室
TEL: 03-5463-0575
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

文部科学省科学技術人材育成費補助金　「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

平成26年度　第7回高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座　第3弾

「社会人基礎力」

①前に踏み出す力
②考え抜く力
③チームで働く力

をつけよう！

受講生の「社会人基礎力」を診断し、その強化手法を学習します
企業はその力を高めてから実社会に出ることを求めています
仕事をしていくために必要な力＝「社会人基礎力」

日　時：2014年 10月 23日(木)
１６:２０ ～ １７:５０

会　場：東京海洋大学　品川キャンパス
白鷹館　多目的スペース

講師　**塩谷 和美**　特任教授

昭和４７年　東京水産大学漁業学科卒業

【 経歴 】
セブンイレブンの創業メンバーの一人。
企業でのマネジメントや経営コンサルタントの経験を活かし、
大手企業で研修を実施。　１６,０００人が受講している。

大学院生の皆さんへ

１０回程度開講予定の「高度専門キャリア形成論」を７回以上出席した場合、
下記の単位が取得できます。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

お問い合わせ
国立大学法人東京海洋大学
キャリア開発室
〒108-8477　東京都港区港南 4-5-7
03-5463-0575 (TEL)　career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

博士人材のキャリア開発

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

平成26年度 第8回 高度専門キャリア形成論

企業の研究所に広がる可能性
～夢を持って社会に出よう！～

日時： 2014年11月20日（木）16：20-17：50

場所： 東京海洋大学 楽水会館 1階 大会議室

【プログラム】

16:20　開会挨拶（キャリア開発室）

16:25　講演 河口 友美 氏

日本ハム株式会社 中央研究所・研究員（農学博士）

17:30　質疑応答

【講師プロフィール】河口 友美（こうぐち ともみ）氏

広島県出身

2006年 東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 修士課程修了

同年 日本ハム株式会社に就職、中央研究所に配属

2011年より広島大学大学院 生物圏科学研究科博士課程に入学（社会人ドクター）、2012年に博士号を取得し現在に至る

入社以来、食品の機能性に関わる研究に従事．特に、食肉中に含まれる有用成分（コラーゲンや食肉ペプチド）に焦点を当て、摂取することでヒトの体にどのようなメリットを及ぼすかを広く検討している．海洋大女子野球部初代主将．

高度専門キャリア形成論を7回出席された場合、下記の単位が取得できます

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（1単位）

後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（1単位）

国立大学法人　東京海洋大学　キャリア開発室

TEL: 03-5463-0575　career@m.kaiyodai.ac.jp

http://www.kaiyodaicareer.com

文部科学省科学技術人材育成費補助金　「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

平成26年度　第９回高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座　第4弾

[就活成功]への心得と実践

■自分が成長できる企業をどう見つけ出すのか
■自分の価値をどう企業に売り込むのか
≪2016就職戦線は既に始まり
企業は優秀人材を囲い始めている≫

《就活》は最も自己成長できる機会です！
不作為の後悔をしないための具体的行動を学びます。

日　時：2014年１２月１８日(木)
１６:２０～１７:５０

会　場：東京海洋大学　品川キャンパス
白鷹館　多目的スペース

講師　塩谷 和美　特任教授

昭和４７年　東京水産大学漁業学科卒業

【 経歴 】
セブンイレブンの創業メンバーの一人。
企業でのマネジメントや経営コンサルタントの経験を活かし、
大手企業で研修を実施。　１６,０００人が受講している。
キャリアコンサルタント

大学院生の皆さんへ

１０回程度開講予定の「高度専門キャリア形成論」を７回以上出席した場合、
下記の単位が取得できます。

前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

お問い合わせ
国立大学法人東京海洋大学
キャリア開発室
〒108-8477　東京都港区港南 4-5-7
03-5463-0575 (TEL)　career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

文部科学省科学技術人材育成費補助金 「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

第２回　キャリアワークショップ
第10回　高度専門キャリア形成論

博士が企業の研究開発に貢献する
持続可能な社会を目指して
～環境科学の総合コンサルタントとして～

日　時：2015年 1月29日(木)
16:20～19:00

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
白鷹館２階　多目的スペース

日本での環境調査の最大手であるコンサルティング会社のお２人をお迎えし「トップから事業の今後の展開やご自身のキャリア」また「昨春長期インターンシップを経て入社された王さんから、着任後の仕事や今後の抱負」についてご講演いただきます。

★懇談会にて企業で研究開発の仕事をしたいとお考えの方々、
直接話が聞ける貴重なこの機会をお見逃しなく！★

＜プログラム＞

16:20　開会挨拶
講演　細田　昌広氏
いであ株式会社　代表取締役社長

17:00　講演　王　琦氏　博士（海洋科学）
いであ株式会社
水環境解析部　研究員

17:40　〈質疑応答〉
18:00　懇談会　挨拶

(19:00 終了予定)

☆講演者プロフィール

細田　昌広　氏

1979年3月　東京水産大学
海洋環境工学科修士修了
1979年4月　新日本気象海洋株式会社
（社名変更により
国土環境株式会社を経て
現いであ株式会社）入社
2013年3月　代表取締役に就任

王　琦　氏

2012年9月　東京海洋大学
博士（海洋科学）取得
2012年9月　東京海洋大学
博士研究員
2013年1月　第54次南極地域
観測隊　夏隊同行者
2013年4月　いであ株式会社　入社

どなたでも参加無料

事前申込不要

大学院生の皆さんへ
10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を７回出席された場合
下記の単位が取得できます。
前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

R-MaST

国立大学法人　東京海洋大学
キャリア開発室
TEL: 03-5463-0575
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

第１１回　高度専門キャリア形成論

大学・公的研究機関の水産研究で活躍する博士たち

日　時：2015年 2月26日(木)
16:20～17:50

会　場：東京海洋大学 品川キャンパス
2号館　１００A教室

官学の研究所で活躍されている博士の方に今までのキャリアや今後博士が活躍するために大切なことや役割等についてご講演いただきます。

★直接話が聞ける貴重なこの機会をお見逃しなく！★

＜プログラム＞

16:20　開会挨拶

講演　土井　航氏　博士（海洋科学）
東海大学　海洋学部　水産学科
講師

17:00　講演　今村　伸太朗氏　博士（水産学）
(独)水産総合研究センター
中央水産研究所
研究員

17:40　〈質疑応答〉

（17:50 終了予定）

土井　航　氏

2007年３月　東京海洋大学
博士（海洋科学）取得
2007年４月　東京海洋大学
技術補佐員・博士研究員
2009年1月　(独）水産総合研究センター
遠洋水産研究所
研究等支援職員
2012年4月　東海大学　講師

今村　伸太朗　氏

2003年9月　東京水産大学
博士(水産学）取得
2004年1月　ハーバード大学医学部
ダナファーバー癌研究所
スケンベンス眼研究所
2007年5月　(独）水産総合研究センター
中央水産研究所

大学院生の皆さんへ

10回程度開講予定の高度専門キャリア形成論を７回出席された場合
下記の単位が取得できます。
前期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅰ単位（１単位）
後期課程の方：高度専門キャリア形成論Ⅱ単位（１単位）

どなたでも参加無料

事前申込不要

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

R-MaST

国立大学法人　東京海洋大学
キャリア開発室
TEL: 03-5463-0575
career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com

資料－２

「隔月ニュースレター(Newsletter)」

《平成26年度第１～6回》

キャリア開発室 Newsletter
平成26年度04-05月号

トピックス

☆ 第1回講義：キャリアデザインは自己責任とは…
☆ 第3回講義：養殖真珠にかけた情熱と研究
☆ H26年度･長期インターンシップの募集開始！

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人 東京海洋大学
博士人材のキャリア開発

国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電 話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第１回 高度専門キャリア形成論の報告

『将来の働き方の選択肢と就職を考える』 塩谷和美 特任教授

平成２６年4月24日(木) １６:２０～17:50　於品川キャンパス白鷹館

４月からキャリア開発室に着任された塩谷先生が、４回シリーズの第１回目として「自分らしい働き方のためのキャリアデザイン」について講義されました。

◆ 開会の挨拶

初めに、キャリア開発室の神田副室長から、塩谷先生が紹介されました。

◆ 講師として経験豊富

塩谷先生は海洋大（旧水産大）のＯＢで、セブンイレブン・ジャパンの創業時メンバーとして、全国の店舗開拓に尽力されました。また、５５歳でキャリアコンサルタントに転身され、講演活動等にも経験豊富だそうです。本日の講義も、グループワーク形式となりました。

◆ キャリアデザインとは

「講義の中では、自分自身を知るためにアセスメントの実施も計画している。キャリアデザインとは、『自分らしく生きるために、自分が希望する豊かな人生を、自分自身で切り拓いていくための戦略を考えること』である。４回シリーズで、このことについてグループワークを交えながら一緒に考えていきたい」と述べられました。

◆ グループで話し合い

「雇用環境と人生環境の問題と解決策」について、各グループで話し合いと発表が行われました。塩谷先生がそれぞれにコメントしながら、相互のコミュニケーションと理解の促進が図られました。

◆ キャリアは自己責任

「有名な一流企業だからといって、安心とは限らない時代だ。キャリアは自己責任であり、流れのままに身を任せてはいけない。また、皆さんにはできるだけ、自分自身を成長させることができる正規雇用を目指してほしい」と述べられました。

◆ キャリア相談に来て下さい

最後に、「キャリアについての悩みは、早い段階で相談することが大事であり、気楽に相談しに来て欲しい」と述べて、本日の講義が締め括られました。

様々な統計データや、具体的で幅広い事例等をたくさん紹介しながら、グループワークも適時組み込まれた、興味深く、楽しい第１回目の講義でした。

● 共同開催特別セミナー（第２回 高度専門キャリア形成論）

◆ 共同開催された特別セミナーを、第２回高度専門キャリア形成論としました。

『海外で仕事をしたい研究者のためのグローバルキャリアパス特別セミナー』
井上千春 氏（ Unilever R&D Vlaardingen / Biopolymer Scientist ）
平成２６年5月2日（金）１５:００～１６:３０　於品川キャンパス白鷹館

● 第３回 高度専門キャリア形成論の報告

『真珠研究の最前線』 永井清仁 氏 株式会社ミキモト真珠研究所長
平成２６年5月２９日(木) １４:２０～17:50　於品川キャンパス白鷹館

養殖真珠にかける情熱と、数々の困難を乗り越えてきた研究者の体験談を講演されました。真珠の養殖技術や研究成果についても詳しく解説されています。

◆ 開会の挨拶と願い氏の紹介

最初に、神田先生から開会の挨拶があり、モデレーターの瀬川先生による永井氏の紹介がありました。「永井さんとは研究室が同じで、趣味も同じ。永井さんは、企業で研究活動を続ける過程で論文博士を取得された。」

瀬川先生は、「民間企業での研究が、大学での研究とどう違うかを学んでほしい」と述べて永井氏の登壇となりました。

◆ 真珠は、生物が作る唯一の宝石

初めに、ミキモト社の創業者である御木本幸吉氏と、真珠養殖を教示した箕作佳吉博士のことが紹介されました。永井氏は、学生の頃から貝や貝殻にとても興味があり、「真珠養殖は１６世紀から始まり、日本の技術は世界最先端！当時は求人もなかったミキモト社に果敢にチャレンジして、ようやく就職することができた」と就活当時のことを話されました。

◆質の良い真珠養殖には、海の環境調査による貝の健康管理が重要

「１９９０年代に、アコヤ真珠の生産量が１／３に激減した。新型の赤潮が英虞湾で大量発生し、九州大学と共同で『貝リンガル』の開発に至った。『生物に海の環境異変を教えてもらう』という発想の転換だった。また、追い打ちをかけるように赤変病が発生した。これも、九州大学と共同で低水温漁場を用いた病気の抑制方法を発見することができ、論文として発表することにした。」

「これまで大学と一緒に様々な研究や活動をしてきた。産業の持続的発展や新しい産業の発展のために、これからも連携が非常に重要になってくると痛感している」

◆受講者へエール

「企業に入ってから、研究スキルを身に付けることは非常に大変だ。企業に就職すると、皆さんが学んできたことがもの凄く役に立つ」と述べられ、「社会に貢献できるように頑張ってください」と受講者たちにエールが送られました。

● 長期インターンシップの募集を開始しました！

◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等を入手できます。

http://www.kaiyodaicareer.com/ または、大学公式ホームページから →

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

キャリア開発室 Newsletter

平成26年06-07月号

トピックス

☆ 第4回講義：企業と社会の変化を知ろう！
☆ 第5回講義：学位取得者に期待されることとは
☆ H26年度、２名が長期インターンシップを修了

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人 東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology
国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室
電 話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第４回 高度専門キャリア形成論の報告

『いま、企業が求める人材とは』 塩谷和美 特任教授 詳細はHPで

平成２６年６月１９日(木) １６:２０～17:50 於 品川キャンパスA100教室

４月から始まった、塩谷先生のキャリアデザイン講義のシリーズ 第2弾 ！
企業の変化を知り、自分自身を知ることで、就活にどう備えるか．．．

◆ 時代は変化している

『将来どうなりたいか』のイメージを持って就活に臨んだ方が良い。目標をしっかり持っていれば、もし違っても軌道修正ができる。これが、キャリアデザインの基本的な考え方だ。自分の将来について、これまであまり考えたことが無い人も、そろそろ準備を始めてはどうだろうか。

◆ 企業の変化と就職先の多様性

この２０年で、企業の採用は次第に縮小し、大学教員の職も狭き門になりつつある。社員の１／３が非正規雇用の時代に、皆さんにはぜひ正社員を目指してほしい。『就職の手引き』（就職支援課）には、先輩たちがどんな会社に就職したかが載っているので、会社選びに活用してほしい。また、中堅企業の方が、任される仕事の責任領域が広く、自分のやりたいことができるという利点があることも知っておいてほしい。

◆ 面接の極意とテクニック

塩谷先生から、面接の極意とテクニックが、具体例を示して紹介されました。

人に負けないものを持つこと、そして熱意と強い意思を売り込むことが面接である。面接時には、自分がこれから『伸びる可能性』があることをアピールする必要がある。特に博士号取得者には、これまでやってきたことも大事だが、『これだけしかできない』はダメなことを知ってほしい。

◆ 就職準備度のセルフ・アセスメントを実施

就職に対する準備度を知るセルフアセスメントが実施されました。

『就職に備える』とは、自分の意識を改革して、実際に行動を起こすことが大事である。そして、『楽水会名簿』も大いに活用し、４０代でバリバリ働いている人を探して会ってみるとよい。

◆ 今回もグループワークを２つ実施

今回も、提示された課題について、１分間考えて隣どうしで話し合うワークが行われました。

最後に、「気楽に、何でも相談しに来てほしい」と述べて、本日の講義が締め括られました。

● 第５回 高度専門キャリア形成論の報告

『水産・海洋科学の最前線で働く』

詳細はHPで

平成２６年７月１０日(木) １６:２０～17:50　於 品川キャンパス白鷹館２Ｆ

最前線で活躍する組織のリーダー、４０歳代の二人の博士が講演されました。
学位取得者に期待されることとは．．．

田中智行 氏　株式会社マリン・ワーク・ジャパン

旧水産大を卒業後に名古屋大学で博士号を取得し、１０年前に現在の会社に就職した。博士後期課程に進学して、就職の幅を狭めた感はあるが、同時に『海に関わる仕事で研究職に就きたい』という職業観を持った。

アラスカ大学での仕事は、新たなチャレンジであり、英語圏での生活経験と人脈を得ることができた。その後、海洋観測船『ちきゅう』を立ち上げる仕事に携わっている。とてもヤリガイがあり、英語も役に立っている。

大学でやっていたことと、今やっていることはかなり違っているが、一貫して『海に関係する仕事』と『サイエンス』に関わって来たことに満足している。これから就職を控えた受講者たちが、いま考えなければならないことは、『将来を見通す力、教養を深めること、語学力』の３つ。変化に対応できる人こそが、生き残っていける。皆さんはどう思いますか？

渡邊一功 氏　一般社団法人漁業情報サービスセンター

サンマは、８～１２月にかけ、水温の低下と共に東沿岸から徐々に南下する。しかし、昨年はなかなか南下しなかったため、漁場が沖合へと遠くなってしまった。衛星や漁船や水揚げ等の情報を元に、日々大きく変化する海の分布図等を作って、漁業者や流通加工業者に提供することが仕事。

修士を卒業して直ぐに、現在の会社に就職した。もともと、社会に出てから博士を取ろうと考えていたし、現在の会社はそれができる環境だった。

博士は、年齢に応じた一般常識もあると見られるので覚悟した方が良い。学部卒で５年間働くと、それなりの力を付ける。アルバイトでも良いから、社会に出た方が良い。現場を知れば、ビジネスマナーやルールが大体見えてくるし、人脈もできる。将来は、皆さんが業界をリードする立場になっていく。真の力を付けて、大きく羽ばたいてほしい。

● ワークショップの開催決定！ 9/18(木) 16:20～

- ❋ 長期インターンシップ体験談 ＋ 受入企業様 が続けて発表!!
- ❋ 企業トップと直接話せる懇談会も開催《毎回大好評》

● 長期インターンシップ募集中！

長期インターンシップの近況報告

❋ Ｈ２６年度になって、既に２名が長期インターンシップを修了しました。
（そのうち、１名は研修先企業に就職されました。 おめでとうございます！）

◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等を入手できます。

http://www.kaiyodaicareer.com/ または、大学公式ＨＰのリンクから ➜

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

キャリア開発室 Newsletter
平成26年08-09月号

トピックス

★第6回講義：博士が活躍する開発コンサルタント
★マダガスカルでの長期インターンシップ報告
★3年間の長期インターンシップ実績は…

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電 話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

● 第6回高度専門キャリア形成論＋第1回ワークショップ＋懇談会

企業の方々を多数お招きしてイベントが開催されました！ 詳細はHPで

平成２６年９月１８日(木) １６:２０～１９:００ 於 品川キャンパス白鷹館２Ｆ

「国際協力の業務について」 寺島裕晃氏（アイ・シー・ネット株式会社代表取締役社長）
～ 水産系開発コンサルタントの仕事 ～

日本の便益を守るＯＤＡ

政府開発援助は、政府間の合意の後、JICAでプロジェクトの計画・立案をする。ＯＤＡ予算は年間約１.５兆円で、国家予算の１％弱を占める。

実際の業務内容を写真で分かり易く紹介

《 セネガル、フィリピン、キリバス、チュニジア、ミンダナオでの業務事例が沢山の写真で紹介されました。》

漁獲量が減り資源管理がうまくできない、養殖の生産性が悪く水質悪化が問題となっている等の開発途上国を援助する。 また、非常に広いＥＥＺを持つ大洋州の諸島諸国に共通する問題にも支援する。最終的には、その国の水産や資源管理政策のプランを作る。これまでは、漁獲量を上げることが目標であった。現在では、資源管理をしながら節度のある獲り方で、現地の人の生計をどう向上させるかが重要になっている。

回り道をしたように思えるが、その経験があったからこそ今の活躍ができている

最初は国際協力には興味が無く、大学卒業後は民間調査会社に就職した。大学院に戻ってから、JICAの専門家派遣で、モーリシャスの技術移転指導や政策提言に参加した。

国際協力における水産分野の範囲は広い。海洋大でやっていることは、水産系開発コンサルタントとしてどの分野でもニーズがある。現場経験が必要なので、水産系の大学を出ても直ぐに開発コンサルタントになる人は少ない。実際には、千差万別なキャリアパスを経ているようだ。

開発コンサルタントに求められる能力や人材像

やはり最初に語学力が挙げられる。そして、それ以上に大事なのはコミュニケーション能力だ。次に、専門分野の知識と経験が挙げられる。最後に、その国の人達を思う気持ちや、良くしたいと思う情熱が無いと難しいと思っている。

「長期インターンシップ報告」 櫻井恵子さん (DC2)
～ 技術協力プロジェクトにおける開発コンサルタント業務を通じての学び ～

研修場所はマダガスカル

アイ・シー・ネット社で、今年３月まで長期インターンシップに参加した。仕事は、プロジェクトの『研修管理と業務調整』だった。

マダガスカルでは、火災や伐採で天然林が９.３％／年で減少している。すると土砂が下流域に流出し、稲作地帯の灌漑がうまく機能しなくなり、稲作生産に悪影響を与える。上流域の生活は貧しく、安易に伐採を止めさせることはできない。この状況に、どうアプローチするかというプロジェクトだった。《写真を示しながら、仕事内容の紹介がありました。》

『新たな知識を得ることは、新しいアイデアが生まれる原石』と気付いた

研修を通じて学んだことは、『謙虚に学ぶこと』だった。そして、コミュニケーションは重要なツールであるということ。できる目標ではなく、難しい目標を設定すること。原則に立ち返るということ。最後に、スピード感のあるＰＤＣＡサイクルを、恐れずにどんどん回して行くこと。

これらは、ある部分では研究にも通じることだと思っている。

博士号を持った開発コンサルタントとして…

今後は、語学力（英語とフランス語）を強化したい。そして、責任ある立場で経済発展に関与するため、博士号の取得に注力したい。学ぶことの喜びを意識して、情報を幅広く入手し続けることを心掛け、積極的な自己開拓をしていきたい。博士号を持つ開発コンサルタントを目指して、国際協力分野において、『研究と実用を結びつける役割』ができるのではないかと思っている。

● 企業の最前線で活躍する方々との懇談会も大成功！

企業から総勢１０名の方々が参加して学生・ＰＤとの懇談会が開催されました

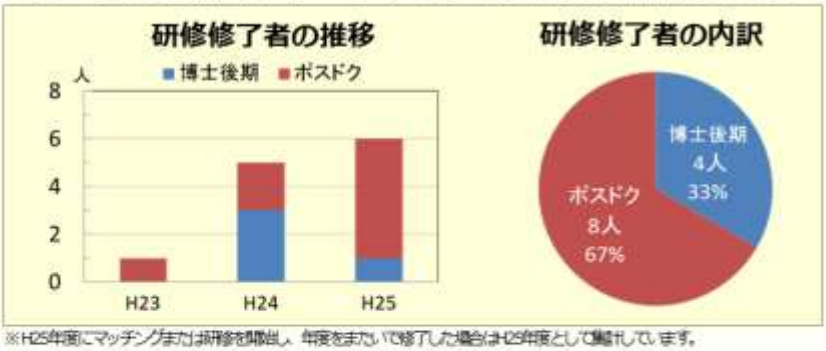
続いて、懇談会の会場に移り、企業の方々と学生たちの意見交換が活発に行われました。《毎回大好評の半年に一度のイベントです!!》

次回の高度専門キャリア形成論は、塩谷先生のキャリアデザイン第３弾!!
『社会人基礎力をつけよう！』は１０月２３日(木)に開催されます。

● 長期インターンシップの修了者は順調に増えています

キャリア開発室は、設立から約３年が経ちました。

これまでの、長期インターンシップの実績をご紹介します。



※H25年度にマッチングまたは研修を開出、年度をまたいで修了した場合はH25年度として集計しています。

皆さんも、長期インターンシップで働く体験をしませんか？

◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等を入手できます。

http://www.kaiyodaicareer.com/ または、大学公式ＨＰのリンクから ➜ 博士人材のキャリア開発 海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

キャリア開発室 Newsletter
平成26年10-11月号

トピックス

★第7回講義：社会人基礎力をつけよう！
★第8回講義：企業の研究所に広がる可能性
★長期インターンシップの中国語パンフレット

東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

●第７回高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第３弾！

詳細はHPで

平成２６年１０月２３日(木) 16:20～17:50　於 品川キャンパス白鷹館2F

「社会人基礎力をつけよう！」 塩谷和美　特任教授（キャリア開発室）
～ ①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力 ～

就活は既に始まっていることを知って欲しい

企業は、社会人基礎力をつけて社会に出ることを期待している。また、就活時期が後倒しになり、インターンシップや企業説明会に力を入れており、リクルーターも復活している。

『どんな強みを発揮して社会で活躍したいか』等がグループワークで話し合われました

面接では、自分の強みについて聞かれることがある。２分程度で発表できるように、あらかじめ考えておくことが必要だ。

皆さんは、既に基礎学力とＩＴスキルは十分であり、専門知識にも取り組んでいる。しかし、基本的な『人間性、生活習慣』も重要だ。これは、部署が変わっても、また転職しても通用する。また、社会人基礎力のなかでも特に、『考え抜く力』と『やり抜く力』は重要だ。

社会人基礎力の12要素を自己採点し、レーダーチャートにするワークが実施されました

世代別キャリアデザインのテーマとは…

20代は、主体性をもって仕事に取り組み、仕事を覚える年代である。30代は、自分の得意な分野で、自己責任とリーダーシップを発揮しなければならない。そして、どの分野でプロになるのかを模索しなければならない年代でもある。先を見ながら、能力開発に取り組むことが大事だ。

身に付けるべき能力水準には、企業と学生の間に意識のギャップがある

企業は、広く考えて様々な解決策を提示できる人を求めており、成長願望を持って入社してほしい。

『求められること、やりたいこと、できること』の三つの輪が重なったところ

就職をするなら、東日本大震災の復興や２０２０年の東京オリンピックを控えている今がチャンス。自分の成長願望が叶えられそうな会社を選ぶことが大事だ。自分の強みを活かして売り込み、夢と情熱を持って、最後までやり抜く執念で就活に臨んでほしい。

質問等があれば、どんな小さなことでも相談に来てほしい

インターンシップを利用して、企業で働く体験をするのも良い。長期インターンシップ制度では、ＰＤ８人、ＤＣ４人の実績があり、そのうちＰＤ４人はインターンシップ受入先の会社に就職した。

最後に、今後の授業の予定を紹介して、本日の講義が締め括られました。

● 第８回高度専門キャリア形成論

詳細はHPで

『企業の研究所に広がる可能性』

平成２６年１１月２０日(木) 16:20～17:50　於 品川キャンパス楽水会館1F

～ 夢を持って社会に出よう ～

河口友美氏　日本ハム株式会社 中央研究所・研究員（農学博士）

海洋大での生活について

学部時代は、やりたいことを次々と実現し、スパイクで授業に出席するような学生生活だった。修士課程に進学して、研究に対するスタンスと面白さを教わり、研究職に就きたいと思うきっかけになった。

修士卒で企業の研究所に就職

企業における研究で大切なことは、組織に利益をもたらすこと。最終ゴールを意識して、仲間と協力しながらチームとして研究を行うことが大切であり、一人で研究するよりも大きな仕事ができる。

企業から博士課程に進学して

広島大学と研究協力協定が結ばれたことで、同大の博士課程を社会人枠で受験する機会が得られた。社会人でありながら大学院生として研究を続けることはとても大変で、実際はとてもキツイ毎日だった。ようやく迎えた学位授与式では、偶然に誕生日と重なったこともあり、感極まって涙が溢れる体験をした。

企業研究者としての楽しみと満足感

企業研究者は、好きという理由だけでは研究はできない。また、決められた時間内に成果を出さなければならず、「頑張りました」だけでは通用しない。一方は、自分の研究が形になって世の中に出ていくことに、ヤリガイを感じる。

私の就活体験

企業は様々な人材を求めているので、就職面接の模範解答はない。また、嘘をついて入社しても結果的にミスマッチとなる。大切なのは、自分の本質（幹）をしっかり持つことだ。

河口氏にとっての幹とは、一貫して『根性と行動力で研究を続けて行きたい』だそうです。入社後は、企業にしかない楽しみが待っているので、今は大学院でしかできないことを楽しんでほしいと述べて、講演が締め括られました。

※ 質疑応答の内容はホームページでご覧ください。

● 長期インターンシップの中国語パンフレットあります

Internship進修

为同学們提供到企業･研究機構内進修的機会、在進修中体験工作、
拡大視野、并在進修的過程中了解到自己的専業如何更好的服務于社会。

ポスドクには３か月間の給与と交通費が支給されます
（ＤＣには交通費が支給されます）

遠隔地での研修には往復の旅費と宿泊費も支給されます
（海外を含む）

传单写在中国 →

◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等を入手できます。

http://www.kaiyodaicareer.com/ または、大学公式ＨＰのリンクから →

博士人材のキャリア開発
海洋国際人材キャリアパス開発プログラム

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

キャリア開発室 Newsletter
平成26年12-01月号

トピックス

★ 第9回講義：就活成功への心得と実践
★ 第2回ワークショップ：持続可能な社会を目指して
★ ポストドクター・キャリア開発事業シンポジウム

東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

● 第９回高度専門キャリア形成論

キャリアデザイン講座・第４弾！

詳細はHPで

平成２６年１２月１８日(木) １６:２０～１７:５０　於 品川キャンパス白鷹館2F

「就活成功への心得と実践」 塩谷和美　特任教授（キャリア開発室）
～ 不作為の後悔をしない為の具体的行動を学ぶ ～

冒頭で、「就活の３か月後ろ倒しが進められているが、実際は昨年と同じスケジュールで進んでいる」と述べて、本日の講義が始まりました。

就活は計画的に進めて正社員を目指してほしい

自己理解が十分でないと、就活で躓くことになる。また、焦って決めると入社してからミスマッチとなることもある。安易に非正規雇用になっても、なかなか重要な仕事に就けず、自己成長する機会も得られない。

ここで、『海洋大で何を学び、何を得たか』を１分間で考えて話し合う演習が行われました。

面接では、自分のことについて語れるように準備しておくこと。そして『自分ならではのもの』をしっかり持って、『素』で臨むことが大事だ。

良い会社とは働き甲斐のある会社

従業員と経営陣との間に信頼関係があり、個人のライフイベントにも配慮して成長する機会を与えてくれる会社が良い。また、中堅企業であれば、一人で色々なことを任せてもらえる利点がある。

チャンスは自分から掴み取るもの！

企業は、その会社に相応しい人間性かどうかを判断する。『就職四季報』や『業界地図』を活用し、ＯＢ・ＯＧを訪問する等して、積極的に情報を取りに行く姿勢が大事だ。

● ポストドクター･キャリア開発事業シンポジウム

今年も、文科省が主催するシンポジウムが平成27年1月9日に開催され、大勢の大学関係者や企業の方々が参加されていました。

『博士人材が企業で活躍するための要諦と課題』と題した基調講演と話題提供や、『期待する博士人材を受け入れるために』についてのパネルディスカッションがおこなわれました。

キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから入手できます。http://www.kaiyodaicareer.com/

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

● 第10回高度専門キャリア形成論 ＋ ワークショップ ＋ 懇談会

『持続可能な社会を目指して』

詳細はHPで

平成27年1月29日(木) 16:20～19:00　於 品川キャンパス白鷹館2F

～ トップから事業の今後の展開やご自身のキャリア ～

いであ株式会社 代表取締役社長　細田 昌広 氏

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

東京水産大学の大学院を修了後、民間で初めて天気情報を提供した新日本気象海洋(株)（現 いであ社）に入社した。いであ(IDEA)の社名は、４つのビジネスターゲットを表現している。

入社後は、主に数値シミュレーションによる海域の流動予測や水質拡散予測等の環境アセスメント事業に従事した。　どの仕事も複雑で難しく、現地調査や実験等の繰り返しに長い時間が掛かり大変だった。

いであ社は技術開発と技術者育成に注力

技術開発は重要で、いであ社には研究所が４つある。

また、技術力で勝負するには、資格を持つ管理技術者が必須となる。会社としても技術士等の有資格者の育成には力を入れている。

いであ社は、資格取得に意欲的で、語学力があり、海外事業にもチャレンジする意欲がある人材を求めている。「これしかできない」ではなく、専門以外にもチャレンジできることが必要だ。

皆さんの研究で、社会が少しでも良くなることを期待している。

～ 着任後の仕事や今後の抱負 ～

いであ株式会社 水環境解析部研究員　王　琦 氏 博士(海洋科学)

インターンシップ先に就職後の仕事

２年前に、長期インターンシップの研修先である、いであ社に入社した。現在は、研修時と同じ水環境解析部に所属し、主に沿海域の観測データの解析と伊勢湾のシミュレーションの仕事に従事している。

名古屋港の新土砂処分場の建設に際して、漁業にどの様な影響を及ぼすかを評価するためにモデルを作った。様々な項目でシミュレーション結果と実際の観測値との比較を繰り返し、信頼性を高める努力を日々続けている。

将来は海外でも活躍する女性研究者に

今後は、色々な業務を経験して、様々な知識や技術を身に付けていきたい。できれば、国内だけでなく海外でも活躍できる女性技術者を目指していきたい。

私達の仕事に興味を持った方は、是非いであ社に来て欲しい。そして、一緒に頑張っていきたい。

キャリア開発室 Newsletter
平成27年02-03月号

トピックス

★ 第11回講義：水産研究で活躍する博士たち
★ 高度専門キャリア形成論にご期待ください！
★ 長期インターンシップのH27年度募集

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントの案内やお知らせ・活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第11回高度専門キャリア形成論の報告

詳細はHPで

大学・公的研究機関の水産研究で活躍する博士たち

平成27年2月26日(木) 16:20～17:50　於 品川キャンパス2号館100A

「国立大・独法・私立大を渡り歩いて」

土井　航氏　東海大学海洋学部水産学科 講師

船上で応募書類を作成

１年間のポスドクや水産総合研究センターで研究員を経験した。日本海で調査船に乗っているとき、知人から東海大学で公募があると教えてもらった。

私立大学での教員職

私立大は、国立大よりも授業数が多い。また、大学のオープンキャンパスや一般人向けに講義することもあり、小中高の生徒とその父母に接する機会も多い。３月が一番時間の余裕が有り、この間に論文を書いている。

独法での研究員

前職では、用途は限られていたが必要な研究費は与えられた。個人的な研究も何とかできるが、研究以外の仕事もたくさんある。異動によって、全く異なる研究対象に変わることもある。

論文をたくさん書く

大学院生は、今の環境に感謝して研究に打ち込んで欲しい。ポスドクの就職は偶然の要素も少なくないので、論文をたくさん出すことで、少ないチャンスをものにすることができる。

「ハーバード大学での奮闘記」

今村 伸太朗氏　(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 研究員

研究者を目指すキッカケ

中央水研で、ゼブラフィッシュの分子生物学を博士研究する機会があった。魚の体の中で起こることを、目で見て知ることができることに感動した。

ノーベル賞受賞者が沢山いる環境で研究

ハーバード大学医学部のダナ・ファーバ癌研究所は研究が活発で、皆がやる気に満ち溢れた環境で研究ができるのは幸せだった。英語が全く喋れなかったが、自分の強みをアピールしたことで皆に溶け込むことができた。

帰国後は就職先を探して苦労した

３年後に帰国して、正社員になろうとしたがなかなか決まらず１年間のポスドクになった。運良く、中央水研のテニュアトラックに採用された。このとき、恩師との繋がりが大事だと思った。

あえて外に出ることで可能性も広がる

リスクを負っても海外留学するのは、日本では得られない経験があるから。就職したら、納得できない研究もしなければならないことも多いので、ぜひ今を大切にしてほしい。

● 引き続き『高度専門キャリア形成論』にご期待ください！

7回以上出席した10名には単位が付与されました
平成27年度も、様々な分野で活躍する方々を講師にお招きします

❋ 平成26年度の講義実績

第 1回「将来の働き方の選択肢と就職を考える」 キャリアデザインシリーズ1
第 2回「世界で活躍している博士研究者に聞く、海外でのキャリア形成とは」特別セミナー
第 3回「真珠研究の最前線」
第 4回「いま企業が求める人材とは　～社会と企業の変化を知ろう！～」 キャリアデザインシリーズ2
第 5回「水産や海洋で活躍している博士研究者に聞く、学位取得者に期待されることとは」
第 6回「国際協力の業務について　～開発コンサルタントの仕事～」
第 7回「社会人基礎力をつけよう！」 キャリアデザインシリーズ3
第 8回「企業の研究所に広がる可能性　～夢を持って社会に出よう！～」
第 9回「就活成功への心得と実践」 キャリアデザインシリーズ4
第10回「持続可能な社会を目指して　～環境科学の総合コンサルタントとして～」
第11回「大学・公的研究機関の水産研究で活躍する博士たち」

● 平成２７年度も『長期インターンシップ』を募集 します!!

キャリア面談と事前講習でしっかりとサポート

■ 募集対象者

- ポストドクター(満期退学者を含む)または博士後期課程在学者

■ 応募要件

- 公設試、民間企業等で、通算３か月程度のインターンシップに従事すること。
- 自身の専門分野だけでなく、幅広い知識や技術の習得に積極的であること。
- 博士号取得者のキャリア開拓に意欲的であること。

■ インターンシップ受入先

- 観測調査、コンサルティング、水産、食品・バイオ、流通、船舶、機械等々
  応募者の希望に基づいて受入企業とのマッチングを進めます。

※ 詳細は『募集要項』を確認してください。

◆ キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等は
ホームページから入手できます。http://www.kaiyodaicareer.com/

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

(日本語・英語)
長期インターンシップの募集要項等

(日本語・英語・一部中国語)
パンフレット等の説明資料

国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電 話 ：03-5463-0575
Email ：career@m.kaiyodai.ac.jp
WEB ：http://www.kaiyodaicareer.com/
作成日 :平成26年6月